令和元年度第2回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

開催日時場所	令和元年 10 月 28 日 (月) 午前 10 時 00 分~午前 11 時 00 分
	日野市役所 5 階 501 会議室
	委員長 藤村 和正 (明星大学理工学部教授)
出席委員	委 員 島 弘毅(弁護士 島法律事務所)
	委 員 芦田 健太 (税理士 芦田健太税理士事務所)

議事次第

- 1. 開会
- 2. 審議事項
 - (1)対象案件の概要について (令和元年5月1日から令和元年9月30日までの総務課契約締結分)
 - (2)抽出案件について
- 3. その他

3.その他	
4. 閉会	
質問・意見	回答
◆抽出案件について	
・抽出案件の概要説明を事務局に求める。	 ・今回の審査対象期間は、令和元年5月1日から令和元年9月30日までとなっています。 ・この間に総務課で契約締結した案件の総数は436件で、前年同時期に比べ7%増となっています。 ・業務量の平準化の観点から、従来は年度が始まる前の準備行為の期間に契約を行っていた案件の一部を、5月以降の契約締結に変更したことにより、この期間の契約件数が増加しました。 ・落札率が50%未満のものが2件ありましたが、仕様の内容を十分確認したうえでの入札
	であることを業者に確認したうえで契約を締
	結しました。
◆日野都市計画道路 3・4・24 号線道路整 備工事 (31-1) について	

れている内容が適正かどうかはどのよ うに確認するのか。

・公契約条例対象工事ということで労務台

帳の提出を求めているが、そこに記載さ

・支払われた労働報酬が、市が定める下限額を 下回る場合は、労働者が市や受注者等にその 事実を申し出ることができること、そのこと を受注者から労働者へ周知しなければなら ないことが公契約条例に定められています。

- ・適正な賃金支払いを担保するためには積極的な調査も必要と思うが、他の自治体はどのような方策をとっているのか。
- ・共同企業体に発注する案件はどのように 定められているのか。
- ・周辺自治体で立ち入り調査等を行っているという話は現時点では聞いていません。今後、 受注者に適宜確認を行うなどして適正な運 用に努めます。
- ・市の要領で定めています。土木工事の場合は 概ね3億円以上の案件が対象となります。本 件は2億9000万円あまりの契約ですが、高 度な技術を要する内容であるため、共同企業 体に発注することが適当と判断しました。
- ◆幹線市道Ⅱ-38 号線擁壁予備設計業務 委託について
- 入札参加資格として技術士等の有資格者の配置を要件として設ける場合、資格の確認にあたって証明書等の提出を求めるのであれば、発行日を「〇ヶ月以内に発行されたもの」等と限定することにより、より適正な資格審査が可能になるのでは。
- ・次回以降そのような方法で入札参加資格の確認ができるよう、検討してきます。

- ◆日野市文書保管等業務委託について
- ・公文書の保存年限は。
- ・公文書を外部に保管する場合、保管場所 の立地も重要であると思うが、業者選定 にあたり市役所から保管場所の距離に ついて要件を設けたのか。
- 保管場所に限りがある中で、PDFやマイクロフィルム等での保管は行っていないのか。

- ・文書の内容によって異なり、短いものは1年、 長いものだと永年保存となるものもあります。
- ・資料借用等で保管場所を訪問しなければならないこともあるため、市役所から保管場所の 距離に要件を設定しました。その他、周辺自 治体での受託実績等を考慮し、指名型プロポ ーザルにて業者を選定しました。
- ・電子決裁が導入されており、大半の決裁は電子化されているが、図面など紙での保管を余儀なくされる資料もあります。文書の保存年限や保管方法については、今後見直しが必要であると考えています。

◆スーパーロメンパッチ (道路保守用原材料)購入について

- ・年間に必要な数量はだいたい把握できる のか。
- ・価格が上下するものであれば、その都度 契約する意味があるが、価格があまり変 動しないものであれば、年間単価契約を 締結し、納品回数を分けてもらうように できれば業務の効率化という点で望ま しい。価格が大きく変動した際の取扱い についても事前に定めておくとよい。
- ・道路に補修が必要な箇所がどのくらい生じる かによるので、必要数の予測は難しいです。
- ・年間を通して価格が大きく変動することはないため、通年で単価を設定することは問題ないと考えています。